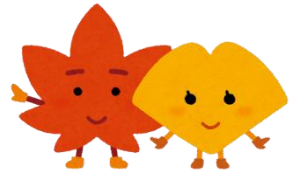


メビウス∞レポート



特定非営利活動法人メビウス千葉 活動報告 令和3年7～9月号（10月1日発行）

残暑も日ごとに和らぎ、初秋の季節となりましたが、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

また、常日頃から我々の諸活動に対するご理解・サポート・見守り等、多大なるご支援を賜り、この場を借りて改めてお礼申し上げます。

今後も引き続きご支援・ご指導を賜りますよう、何卒、宜しくお願い致します。

海苔の封入作業を開始しました。

7月に再開予定だった、ミニトマトの収穫作業は、残念ながら先方との都合が折り合わず、再開となりませんでした。これまでミニトマトの収穫作業があった月・金曜の午前は、マスクストラップの製作に加え、9月からANNEX（別館）で海苔の封入及びシール貼りを開始しました。

“のりドットコム”からの委託作業で、千葉県内の小売業者2社、都内の小売業者1社で販売される予定です。食品としては比較的衛生管理がしやすく、賞味期限が長いことから採用しました。今後は就労継続支援B型事業所でも、作業の柱としていく予定です。

メビウス本部では、クレプトマニア（病的窃盗）用の擬似セットの製作も行っています。A3サイズの紙を店舗に見立て、2cmほどの商品を手にとってカゴに入れ、元の場所に戻し、卓上で条件反射制御法の擬似作業が行なえるものです。今後はこの擬似セットの販売も行う予定です。さらに、来年からは稲作の作業を予定しています。

新型コロナウイルスの影響により、活動が制限されることもありましたが、今後も感染症対策に気を付けながら、活動を充実させていく予定です。



新職員を迎えました。

9月から、新職員の三春泰規さんを迎えました。三春さんは移動時の送迎や、擬似・買い物の同行、見守り、金銭管理の補助、生活面での相談など、寮生たちに寄り添って支援を行っています。特に「再犯に至ってほしくない」という想いが強く、見守りや寮生たちとの何気ない会話の中から、どのような考え方をする人なのか、どのような状況に気を付けなければならないのかを観察しています。

条件反射制御法の維持作業によって、欲求を低減させるとともに、再発に至りやすい考え方も変えていかななくてはなりません。それには時間がかかりますし、同じことを何度も伝えなければならないこともあります。時には再発を経験することもあります。あきらめず地道なかかわりを続けていきたいと思っています。

メビウス千葉 動静報告。(2021年7月～9月)



2021年7月

- 男性1名（処方薬使用障害）が、下総精神医療センターに再入院しました。
- ボランティア活動の一環として、本町小学校前の花壇の除草作業を行いました。
- 下総精神医療センターに入院中の、男性1名（病的窃盗）の裁判がありました。
- 男性3名（物質使用障害、病的窃盗、アルコール使用障害）、女性3名（アルコール使用障害、病的窃盗、病的窃盗及び摂食障害）が入寮しました。
- 女性1名が、サービス管理責任者研修の申し込みを行いました。
- 女性1名（病的窃盗及び摂食障害）が、見学を行いました。
- 土用の丑の日（28日）に、希望者にうなぎのかば焼きが提供されました。
- 男性1名（物質使用障害）が無断で帰省し、職員が迎えに行きました。

2021年8月

- 男性1名（物質使用障害）、女性2名（物質使用障害、病的窃盗）が入寮しました。
- 男性1名が千葉医療センター受診後に情緒不安定になり、所在不明となりましたが、千葉北警察署に保護されているとの連絡があり、職員が迎えに行きました。
- 裁判中だった男性1名（性犯罪）の実刑判決があり、収監されました。
- 入院待ちで入寮していた男性1名（病的窃盗）が、下総精神医療センターに入院しました。
- 女性1名が、市立青葉病院に入院しました。
- 女性1名が、交通事故のため入院しました。
- 男性1名（物質使用障害）が就職し、退寮しました。

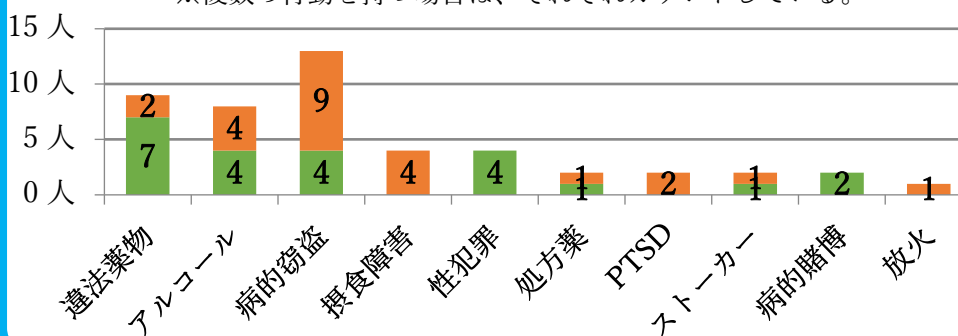
2021年9月

- 男性1名（物質使用障害）が無断退寮しました。
- 男性1名（性犯罪）、女性1名（病的窃盗）が入寮しました。



嗜癖行動別人数(男■女■)

※複数の行動を持つ場合は、それぞれカウントしている。



9月末時点での在籍者

男性17名 女性17名

総在籍者34名

(入院中3名と、拘留または収監中5名含めず)

相談支援事業所メビウス 動静報告。(2021年7月～9月)

【本格始動に向けて】

5月より運営開始した『相談支援事業所メビウス』は、これまでにメビウス千葉入寮者7名と利用契約を行い、うち4名のサービス等利用計画書を作成し、障害福祉サービス利用のサポートを行っています。

開設当初はメビウス千葉入寮者に限定し、体勢を整えることに重点を置いてきましたが、今後は外部の利用者も積極的に受け入れ、障害者福祉に貢献をしたいと思っております。

2021年7月

- ◆ 女性1名、サービス等利用計画書の作成。
- ◆ 男性1名、モニタリング（サービス利用中）



2021年8月

- ◆ 男性1名、契約、アセスメント、ワークショップ鎌取（B型就労支援事業所）見学及び体験利用。サービス等利用計画書の作成。
- ◆ 男性1名、ワークショップ鎌取見学（未契約）。
- ◆ 女性1名、契約（利用は未定）。
- ◆ 女性1名、モニタリング。

2021年9月

- ◆ 女性1名、契約、ワークショップ鎌取見学及び体験利用。サービス等利用計画書の作成。
- ◆ 女性1名、モニタリング。

条件反射制御法 学会誌に掲載されました。

『条件反射制御法研究 第9号』（2021年9月発行）に、「病的窃盗に対する回復支援施設での維持作業」と題して、メビウス千葉の取り組みが掲載されました。

メビウス千葉は2013年に市民団体として設立され、当初は物質使用障害の入寮者が大半でしたが、現在は病的窃盗（摂食障害を併発している者を含む）が最も多くなっています。メビウス千葉では設立当初から、条件反射制御法の維持作業を行うことを前提として生活支援を行っていますが、窃盗症の社会内疑似は手探りの部分が多く、ここ数年でようやく作業手順が確立されてきました。

効果が上がっている半面、まだまだ課題もあり、効果を上げるためにさらなる技法の改善が研究されています。ご興味のある方は、条件反射制御法学会事務局までお問い合わせください。



7月25日(日)フリーマーケットに出店しました！

6月27日(日)に開催予定だった『いい街ちば フリーマーケット』が雨天のため中止となり、翌月7月25日(日)に出店することができました。

用意したマスクストラップは約600本。それに加え、以前制作したデコパージュ製品(装飾石鹸など)やレジンアクセサリー等も販売しました。

前回の出店から間が空いてしまったため、初参加の寮生もあり、打ち合わせをしながら準備を行いました。当日は夏らしい暑さで、昼過ぎにはゲリラ豪雨に見舞われましたが、多くのお客様に足を止めていただき、購入していただきました。

この日の売り上げは約2万円で、これまでのフリーマーケット売り上げでは過去最高でした。

また、接客する中で、どのような製品が好評かなど、現場レベルでのリサーチもできたので、今後はそれを活かしながら、次回の出店に向けて準備を進めています。

次回は10月17日(日)の出店を予定しています。



寄付金のご協力をお願いします。

メビウス千葉は、『千葉まちづくり応援寄附金』の対象団体となっております。

千葉市まちづくり応援寄附金制度とは、『一定の要件を満たした対象団体の中から、応援したい団体を指定して寄附ができる千葉市の新しい制度です。「まち寄附」は、ふるさと納税制度による税控除を受けることができるので、まちづくり団体へ気軽に寄附をすることができます。』

(※下記ホームページより)

千葉まちづくり応援寄付金 ホームページ

<https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/jichi/machikifu-top.html>



この3カ月を振り返って。

この3カ月間は、新規入寮者が多く、新しい環境に不慣れな寮生と、在籍期間の長い寮生が協力して活動を行いました。新職員の三春さんを迎え、新しい海苔の作業にも徐々に慣れてきました。新型コロナウイルスのワクチン接種状況は、9月末時点で2回の接種を終えた人が約40%、1回接種が約30%、未接種が約30%となっていますが、未接種の寮生も10月末までには2回の接種を終える予定です。8月には寮生の1人が交通事故に遭い、一時は意識不明の重体となりました。新型コロナウイルスだけが、日常生活に潜む脅威ではありません。これからは日暮れが早くなるため、注意喚起を行っていきます。事故に遭った寮生の日も早い回復をお祈りします。



～ひとりみんなのために、みんなひとりのために～